



秋田県立支援学校天王みどり学園 教育プラン

I 学校の現状と課題・学校を取り巻く将来の状況の予測

○地域の願いで生まれた学校

- ・理解啓発：ボランティア養成講座・ミニ学校展・居住地校交流
- ・地域貢献活動：同窓会・青年学級・わくわくサークル
- ・交流及び共同学習：近隣の小・中学校、職業学科のある高等学校

○全国で唯一、教育センターと渡り廊下でつながっている学校

- ・研修の機会の提供
- ・日々の授業改善への助言、教育活動への協力、研修の受講機会の享受

○分掌に「自立活動部」のある学校

○男鹿潟上南秋地区特別支援連携協議会の事務局を担っている学校

- ・学校・保護者・関係機関相互の支援体制の強化
- ・地域への情報発信などセンター的機能の役割

秋田県の少子・高齢化、雇用業況の厳しさは今後も続くことが予想される。地域の学校・園の特別支援教育に関する理解は深まり、本校の児童生徒数は現状維持か微増すると予想している。

今後も地域とともにある学校づくりを進め、地域の様々な力を学校教育に取り入れると共に、インクルーシブ教育システムの構築に向け、本校から地域に提供していく、相互支援の姿を作り出していくことが大切である。

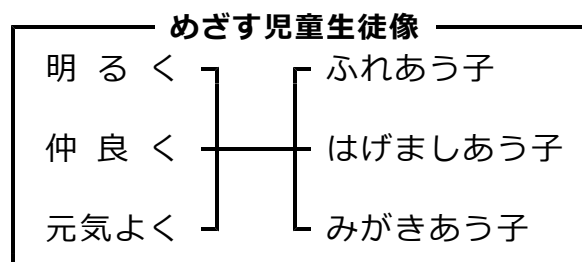
【課題】

- 地域と連携した教育課程・年間指導計画・授業づくりの工夫
- 学校重点目標達成に向けた行事等の重点化
- 授業力向上に向けた総合教育センターとのさらなる連携

II 目指す方向性・学校像や児童生徒の姿

教育目標

地域の一員として、一人一人が輝き、進んで社会参加できる児童生徒の育成



Ⅲ 具体的な目標・取組・推進指標

基本方針

- 地域の教育資源を活用し、地域との協同で教育活動を推進する学校
- 総合教育センターや地域と連携し、県内外に「授業」を提案できる学校

□地域の教育資源の活用

- 地域とつながる「交流及び共同学習」（行事での交流→授業交流へ）
- 小学部で大切にする「居住地校交流」（小学部参加率 [H24] 26%→ [H29] 70%）
- 中学部が地域とつながる社会貢献活動
- 同世代との交流「高等学校との連携」（行事での交流→授業交流へ）
- 学びのある「青年学級」（高等部からの移行支援）
- 「キャリア教育全体計画」に基づく、小・中・高を貫くキャリア教育の推進

□地域の教育活動への参画

- 学校の応援団を育成する「ボランティア養成講座」（受講者数 [H24] 100名→毎年200名×5年 [H29] 計1,000名）
- 保護者が地域に打って出る「PTA活動の活性化」〔地域余暇活動、学校展・作品展、おやじの会〕
- 地域の応援団「学校後援会」の充実・発展
- 学校から発信する「花いっぱいプロジェクト」
- 地域の先生を活かす「部活動」→部活動の充実、作品展への出品

□総合教育センターや地域との連携

- 教育センターと連携した「授業づくり」
 - 教育センター研修講座による特別支援教育の理解啓発
 - 教育センターの施設活用と日常的な交流（→授業交流、授業研修への発展）
 - 地域の学校・教育委員会との連携（地域の研究会・授業参観への参加）
 - ミニ学校展・作品展の充実
（児童生徒、保護者の参画）
- | | | | | | | | | |
|-------|-----|----|-----|----|-----|----|------|---|
| [H24] | 秋田市 | 5 | 男鹿市 | 22 | 潟上市 | 3 | 南秋田郡 | 1 |
| [H25] | 秋田市 | 6 | 男鹿市 | 11 | 潟上市 | 10 | 南秋田郡 | 2 |
| [H29] | 秋田市 | 15 | 男鹿市 | 15 | 潟上市 | 15 | 南秋田郡 | 5 |

□県内外への「授業」の提案

- HPによる校内研究の情報提供
- 自立活動の実践の積極的な発信
- 日常的な授業改善の取組、公開研究協議会の開催 → 地域の学校への発信